

1. 開催年月日 平成27年7月20日(金) 13時30分～15時00分
2. 開催場所 岐阜県可児市広見七丁目90番地
株式会社ケーブルテレビ可児 多目的ホールB
3. 出席委員数 6名(欠席2名)
4. 事業者側出席者数 3名
5. 議題
 1. 番組試聴および審議
 2. 放送番組全般について

6. 審議内容

1. 番組試聴および審議

次の番組を試聴し、審議した。

4月24日(金) 8:20～8:40

「こちらは加茂・可児警察です」(「モーニングライン金曜日」内コーナー)

出演：加茂警察署 交通課長 桂川

パーソナリティ：小椋明子、辻実枝

- ・パーソナリティがゲストの話の要点をまとめているので分かりやすいが、リード担当、ユーモア担当、といった、パーソナリティ二人の役割分担があまりよくわからない。
- ・不思議な印象を受ける点もあるが、親しみをもてる話題にしたいという努力はよくわかる。
- ・警察の目から見たものと、市民の目から見たものにはギャップがある。FMからはただ伝えるだけでなく、リスナーとの双方向性を生かして、メディアの力でそれを埋めることができるのでは。
- ・BGMの音量が大きい。内容を聴かせるための選曲を。
- ・普段からパーソナリティ二人の仲の良さを感じているが、そのために、本質から離れたところで盛り上がってしまっていた。緊張しているゲストへの気遣いもあったと思うが、インタビュー番組は趣旨を踏まえた進行をしないと、リスナーの聴き方も変わってしまう。せっかく交通課長が来てくれたので、一般リスナーが気になっていることや、普段訊きづらいことをリサーチして質問に織り込んだら、テーマに沿った盛り上がりを期待できたのでは。全般には慣れた調子で、ゲストも後半は話しやすく、気持ち良くお帰りになったのではないかという印象は持った。
- ・警察署の番組として狙いがあるやっているとと思うが、二人のパーソナリティが変に盛り上がっていた。それぞれ技量はあると思うので、一人での対応でも良いのではないか。
- ・最後の肝心の、ゲストが大事なことを話す場面の音楽のボリュームが大きく、歌詞にも気を取られてしまい聴きづらかったので改善できたら。警察からの情報発信は新しい試みで良い。
- ・音楽はちょっと邪魔かなと思った。ゲストはトークが落ち着いていて、パーソナリティがわ

ーっと言っても冷静だった。

- ・自分が住んでいる地域に交通死亡事故が多い場所がある。ぜひまた出演して、事故多発の原因や注意喚起を話してほしいと思った。
- ・出勤途中に聴いている。この二人は歯切れがよく、テンポがよくて、話題によってはすごく楽しい。
- ・とっつきにくい印象の警察官が自ら出演し、聴きやすく話してくれて、市民が親しみやすい番組で良いと思う。月1回だけの放送はもったいない。
- ・音楽はなくても良かったと思った。後半、ゲストがしゃべりっぱなしになる時間が長かったので、途中で質問が入ると聴き手が疲れない。

5月1日(金) 14:00 ~ 15:00

「THE STARRY HERATS」

パーソナリティ：NOBUKO、水島稔博

- ・今回はじめて聴いたが、番組の趣旨が紹介されていないため、狙いがわからなかった。悩みごとに応えます等、繰り返し狙いを呼び掛けていけば、NOBUKOさんは既存のファンリスナーも多いので収録でも何らかの反応を得られるのでは。
- ・NOBUKOさんのおしゃべりは、プロらしくとても楽しい。
- ・企画はとてもいい。この番組は何を伝えようとしているのかがきちんと伝わっているのと、わからないまま聴くのとでは、印象が違ってくるので、番組の冒頭でしっかり案内を入れると良いのでは。
- ・占い師はヴェールをかぶった人格を演じることがある。NOBUKOさんの笑いは、そうした演出ではないか。

2. 放送番組全般について

- ・前回、前々回を振り返って、それぞれの番組は企画やメッセージをしっかり持っていることがとても大切だと感じた。何を伝えなければならない番組なのか、という点が抜けていると、聴き手も内容がわからなくなってしまう。

以上の意見が出され、全員承知した。